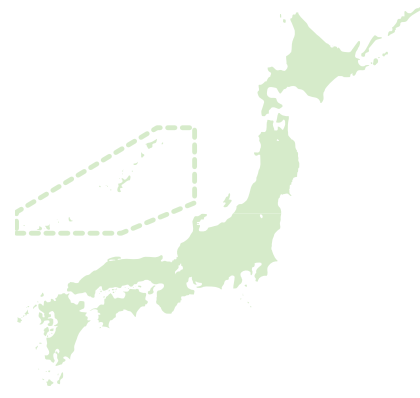


平成27年度

「言語聴覚の日」イベント報告



岩手県

岩手県言語聴覚士会での「言語聴覚の日」活動は、例年盛岡・県北、県南、沿岸の各ブロックで2か所ずつ、計6か所の市町村保健・福祉イベントに参加し、チラシ配り、ブースでの体験・相談活動、ステージでの寸劇を会場のニーズに合わせて行っています。

今年度の皮切りは9月13日(日)の宮古市みやこわくわく祭りでのブース出展でした。

このわくわく祭りは、震災後復活しての3回目の参加になります。隣のブースは、東日本大震災復興特区訪問リハステーションゆずるの皆さんでした。

今年は、例年行っている嚥下体操やトロミ水の試飲に加え、パソコンで行う高次脳機能チェックコーナーと家族連れも参加しやすいよう子ども用のブローイング教材「花車」の手作りコーナーを設けました。

ゆずるでの体力測定や健康コーナーでのボーリングゲームを終えた方、順番待ちの方がこちらのブースにも流れてくるよう来場者をシェアし合える周辺ブースとの協力も得られ賑わいを見せました。姿勢を崩した飲み込み体験やトロミ水の試飲では「トロミを使う生活にならないよう気をつけないと」といった感想もあり、誤嚥予防の嚥下体操にも取り組んでもらいました。また、高次脳機能チェックコーナーでは、小中学生の参加もあり「難しい」と言いながらも笑顔で取り組む様子がみられました。

今現在嚥下や高次脳機能に問題のない方に、興味を持っていただく難しさはありますが、言語聴覚士という職業と、言語聴覚士が関わる障害について啓蒙できるよう引き続き活動を続けていきたいと思えます。

文責 沿岸ブロック 大手賢一

